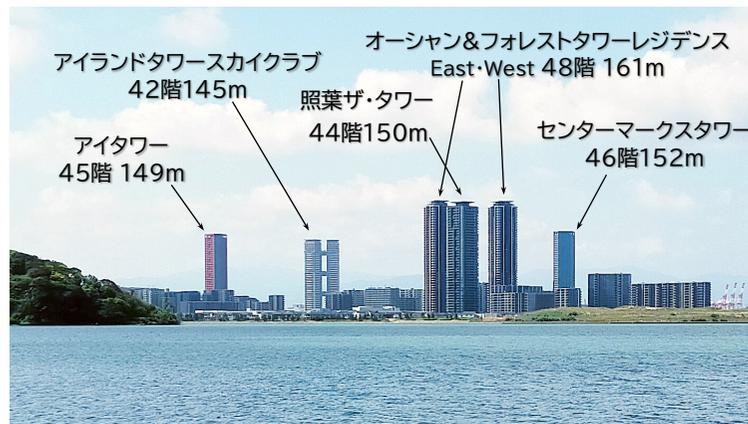
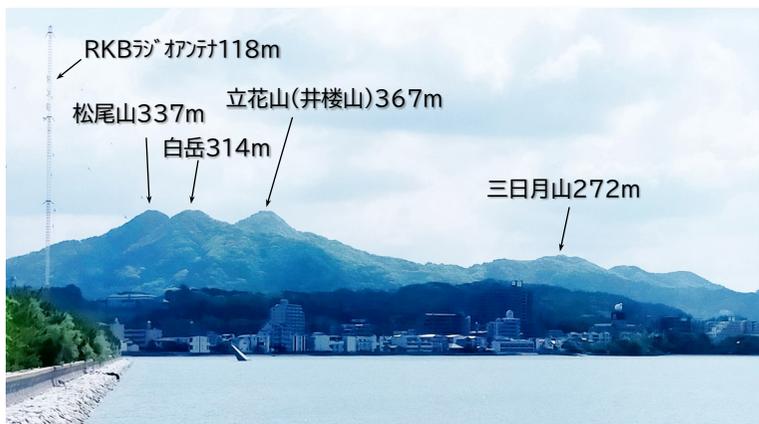


# 塩浜歴史探訪



**新開築堤記念碑**

下和白沖ノ畑より奈多宝塚に連る延々二・五軒の築堤は黒田藩士松本平内を吟味役 博多の侯商大山忠平 鳥羽屋七蔵 菊野屋貞次を御用達とし 中国の人長尾増平を総棟梁として 嘉永六年の四月に着工 その後六年の歳月を費し 安政五年の末に完成せる一大土木事業たり 是による干拓地三十一町歩は かつて塩田として和白塩の名産を馳せ 今日においては 蔬菜園芸の興隆を招来せり 更に此の築堤の恩恵は約二百五十町歩の農地を保全し 本町永世発展の礎となれり 依て茲に全町民感謝の誠を籠めてその業績を頌する

昭和三十四年勤労感謝の日 和白町建之



RKBラジオアンテナ(1972年建設)



展望台と「すべり」跡



波切不動尊(1866年 建立)



「かねんて」波止場跡



新開築堤記念碑(1959年 建立)